

～わらべ～

2026年9月18日
富岡保育園

子どもたちが楽しみにしている運動会が近づいてきました。「大人にとっては、明日もする運動会の練習でも、子どもたちにとっては、かけっこも運動プログラムも楽しかった今日一日の遊びであり、楽しい一日を子どもたちが過ごせることこそが、その子の育ちにとってはとても大切なことです」と、いつも園長先生がおっしゃいます。

昨日、年長さんが跳び箱を跳んでいました。年長さんになって6段が跳べるようになり楽しくってたまらないA君。「先生みてて！」とばかりにスタートしたのですが、気合が入りすぎたのか踏切が遠すぎて頭から体ごと墜落、足も強打してしまいました。「わあ、こりゃ痛かった、大丈夫かな・・・」と心配しましたが、A君はすっと立ちあがってまた列に並び、次は見事6段を跳んだのでした。本当なら失敗して、ましてや痛い目に合うと心が折れてしまいそうですが、今までもA君は、何度も跳べなかったり、痛いことも経験したからこそ自分で立ち直りまた挑戦できたのだと思います。今年も色々なドラマがありました。運動会を通して子どもたちは、これから生きていくうえでの大切な経験をしているのだと声を大にしていきたいと思います。お家の方をお願いしたいのは何があっても「よく頑張ったね！！」と我が子をいっぱいほめてあげて下さい。

～運動会に向けてクラスよいひとこと～

ひよこぐみ

4月からすると子ども達も大きくなり、今月で全員がお誕生日を迎え1歳になりました。歩行も安定し小走りになったり、這い這いでつかまり立ちできる所に行き、つかまり立ちしては「先生見て～」と振り向いては嬉しそうな表情。保育士が拍手をすると喜び、自分も拍手をしようとして座り込んでしまいますが、またつかまって立とうとします。子どものやる気を引き出すのは「いつもあなたを見ているよ」という大人の目が大事なのではないかなと思います。

運動会の体操の曲が聞こえると、廊下を這って歩いてホールまで行き、以上児にまじり、身ぶり手ぶりで踊っている姿はとても楽しそうです。中には、踊っている方に這って行き、踊りを間近で眺めていることもあります。人見知りをして動きが止まったり、泣き出したりすることもなくびっくりでした。

ひよこ組も保護者の皆さんと運動会に参加したいと思います。当日は違う場所、大勢の人に泣き出してしまうこともあるかもしれませんが、それはいつもと違うという事を理解しているのだと思います。「大丈夫よ、一緒にいるよ」と声をかけてあげてください。当日は子どもたちと楽しい時間を過ごして頂きたいと思います。

チームうさぎ

毎日の運動遊びでは「やってみたい」「やってみよう」と好奇心いっぱいで、マット運動や、巧技台の上り下り、鉄棒のぶら下がり等体を動かす事を楽しんでいます。4月に比べて体も動くようになって危なっかしいと思うことも少なくなり繰り返して遊んでいるうちに初めはできなかった事もできるようになってきました。

例えば、高く積んだ巧技台を登る、マットからマットへの両足跳び、平均台を一人で渡る、鉄棒の足抜け回り等その度に「できた！！」という喜びを一緒に共感してきました。そしてできるようになると「先生見てて！」と何度も見せてくれます。運動会でも子どもたちのやる気満々の姿をお見せできるといいなと思います。

運動会の練習をしていると順番があったり、待ったりとルールを守らなくてははいけません。友だちを応援したり、一緒に行動したり集団での行動ができるようになった姿を見ると、昨年よりも大きく成長した子どもたちを頼もしく思ます。今年は年少さんと一緒にダンスにも挑戦します。年少さんにリードしてもらい、自分の立ち位置も覚えて楽しんで練習しています。

運動会本番までもう少し時間があるので、子どものやりたいという意欲を大切に、できた喜びと一緒にたくさん味わっていきたいと思います。



チーム年少



年少になり半年が経とうとしています。以上児クラスの生活にも慣れ4月当初に比べると体力もつき、6人と人数は少ないですが一人ひとりが100%を上回るほどのパワーを持っていて、この元気パワーで毎日保育園を明るくしてくれています。

もうすぐ運動会、日々の運動あそびでかけっこ・跳び箱・鉄棒・ダンスなど色々なことに挑戦しながら楽しんでいます。「ホールに行こう！」と声をかけると「イエーイ！」「島鬼しよう！」「しっぽ取りしよう！」「跳び箱しよう！」とやりたいことがいっぱい。6人で一斉に提案し終始賑やかな時間です。ある日、マットでの前転の際「終わった後、ダッシュで帰ってきたらもっとかっこいいよ」と伝えと、終わる度に私を見て、走る構えをし「今から走ります！先生見とて！」とばかりに自信満々な表情でスタートするという、盛大なアピールを見せてくれました。これが一人でなく、6人全員が、それぞれにするのですから可愛い子どもたちです。

運動会当日もこの自信満々で全身から「楽しい！」が溢れる子どもたちの姿を見てもらいたいものですが、当日どうなるか分からないのが年少さんです。沢山のお客様の前に恥ずかしくて出られないという事もあるかもしれませんが、それでもこれまでの経験は一人ひとりの子どもたちにとって大きな力になっていることは確かです。走っても走らなくても、泣いても笑ってもいっぱいほめてあげて下さい。「ほめられる経験の積み重ねが自己肯定感を育み、心の安定感をもたらす」のだそうです。

来週から、小学校の体育館での練習が始まります。子どもたちが、元気に機嫌よく参加できるよう睡眠を十分にとって、朝ごはんをしっかりと食べて登園させて下さい。子どもたちにとって運動会が「楽しい一日」となりますよう私たちも一生懸命心かけたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



チーム年長



いよいよ、子ども達が楽しみにしている運動会が近づいてきました。小さくてよちよちしていた子ども達が、あっという間に年長になり、こんなに立派に逞しくなったのだな、と喜びを感じる反面、今年が最後か…ととても寂しくなります。また、子ども達からも「保育園で最後の運動会だね」と言う声が聞かれ「保育園最後」の行事が、1つ1つ終わって行きますが、今年の運動会が子ども達の最高の思い出となるよう、精一杯一緒に頑張ります。

今年も跳び箱に挑戦する！と楽しみにしており、一人、また一人と火がつかしました。「跳べないかもしれない…」「跳べなかったら恥ずかしい」色んな想いが込み上げてくると、最初は足が遠のいてしまう子もいましたが、友だちの跳ぶ姿や「何回も練習したらできるようになった！」という声を聞いて「よし！やってみるぞ！」と一歩踏み出す事ができました。「先生、跳び箱出して」「先生、6段跳んでみたい」と毎日汗びっしょりになって、挑戦を続け、自分自身の記録更新を目指して努力を続ける子ども達のパワーには脱帽でした。

跳び箱が跳べることも、努力することも凄いことですが、年長さんのもっと凄いところは「手を前についたらいいよ」「踏切りをバンって強くしたらいいよ」と友だちに教えたり、応援して跳べた時には「先生！〇〇ちゃん跳べた！」とまるで自分の事のように喜んでくれたことです。失敗したときの悔しさや、出来るようになったときの喜びなど同じ経験を通して友だちの気持ちも分かりそんな年長の優しさがとても嬉しいことでした。当日、跳べた・跳べないではなく、これまで頑張ってきた子ども達の努力の成果を見てください。

そして、毎年恒例の等身大を描きました。年長になったら描くことを楽しみにしていたのでしょ、等身大を描くことを伝えると「ええー！やったー！」と喜び、少しずつ色を入れたりしながら仕上げました。年長らしい元気いっぱいの絵になっていますので、是非楽しみにしてて下さい。

さあ、運動会までラストスパートです。一人ひとりが主役の運動会。全員揃って元気に参加できますように。一緒に楽しみましょう！全力で応援よろしくお願いします。